



人生一度きり、

勉強もプライベートも仕事も

楽しまないと損・損!

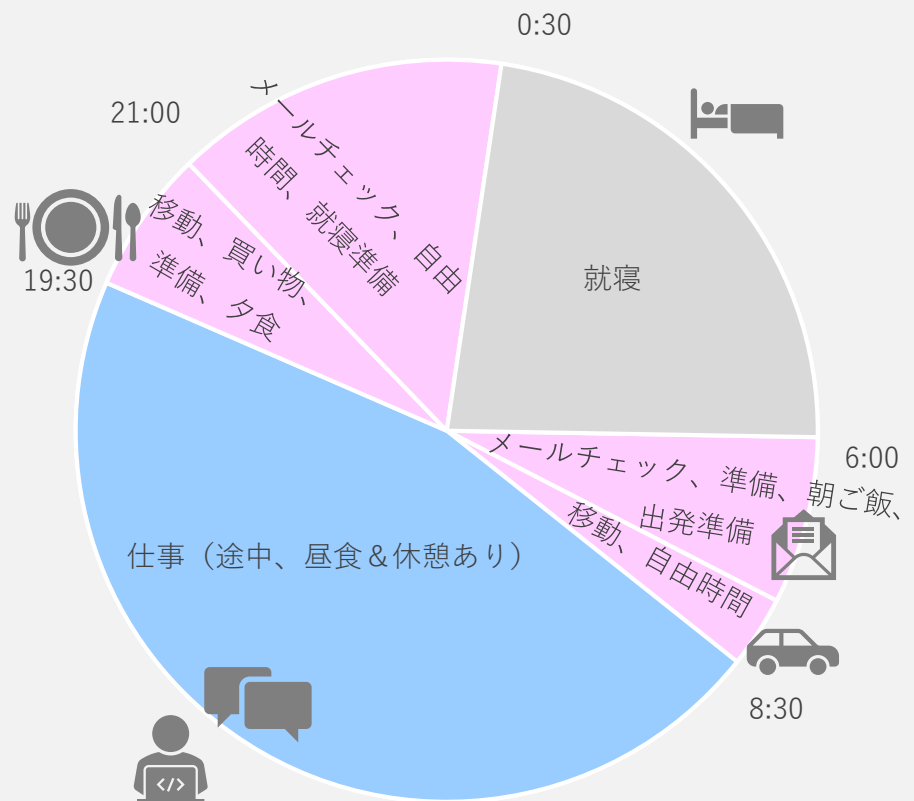
かつみ まみ
勝身 麻美さん

千葉大学大学院単位取得退学。博士(理学)。初等・中等・高等教育に従事、一般企業勤務(海外)、放射線医学総合研究所任期制職員を経て、現在は、長岡技大国際産学連携センター所属のUEA(エデュケーション・アドミニストレーター)として勤務

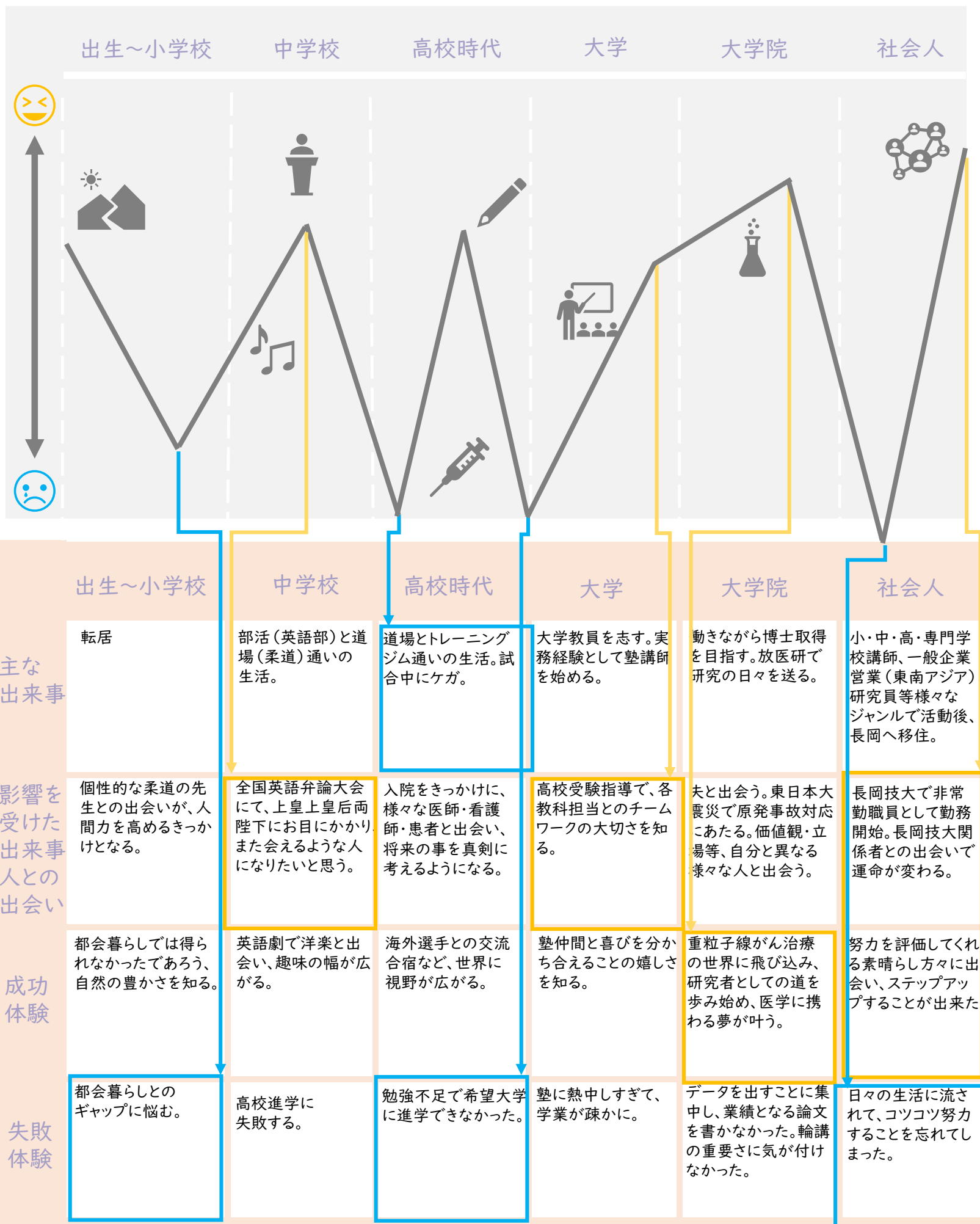
ストレスを溜めこまないように、コーヒーやハーブ茶を飲んでリラックスしたり、乳酸菌等で腸内環境を整えています。

週に1度は必ず美味しい料理を食べに行ったり、月に1度は必ずどこかに出かけて、ストレス発散しています。

✓ 勝身さんの日々のルーティーン



✓ 勝身さん “私のライフチャート”



✓勝身さんにいろいろお聞きしました!

今のこの仕事(職業)を選んだきっかけは?

エデュケーション・アドミニストレーター (UEA) は、海外では知られていますが、日本では数人しかいません。主な仕事は、国際的な産学連携を通じた人材育成、SDGsの普及啓発・企画立案、技学教育の世界展開等を、事務職員と教員との連携により進めています。授業のサポートや、自治体、高専、初等中等教育の場で講演会をするなど、業務範囲は多岐にわたります。留学生、幅広い年齢層、異業種など、様々なバックグラウンドを持つ人々との繋がりを持つ機会も与えられています。稀有な仕事であり、非常に遣り甲斐を感じる仕事なので、この仕事を選びました。

ロールモデルを教えてください!

女性がバリバリ働くことが普通で、祖母は超高齢者となっても現役で働いていました。男性も家事・育児を行う環境で育ってきたので、共働き以外の選択肢はありませんでした。仕事もプライベートも楽しめる環境づくりを心掛けており、アンガーマネジメントを身に付け、笑いが絶えず仲間と楽しく働ける職場環境を提供できるキーパーソンとなれることを目標としています。

学生時代の自分を振り返って

昔から、空&宇宙と理科教育に興味があり、メインの研究以外に、宇宙ステーション実験に応募したり、教授心理学の勉強をしたり、留学生との交流を促進したりと、様々なことにチャレンジしました。修士修了後に充電期間を作り、マレーシアに渡ってフライトスクールに入学し、宇宙飛行士選抜試験を受けるなど「今できること」にチャレンジしました。博士課程に戻り、思った以上に辛い日々を過ごしましたが、学生だけでなく、社会人との接点を増やして、人脈形成を図り、第二の夢に近づけるように目標に向かって走りました。論文を読む&書く数が少なすぎたのは致命的だったと反省しています。

この仕事を続けていてよかったと思うところはありますか?

UEAは、教員・事務職員・学生・企業・自治体だけでなく、海外戦略拠点大学の教員・事務職員・学生や、国連・ユネスコ等との連携を行っているため、新しい出会いの連続です。日々学ぶことが多く、刺激的です。イベントの企画や講演などの参加者が有意義な時間を過ごせたと感じてもらえると嬉しいです。UEAの最大限の役割は「長岡技大の名&魅力を世界に伝える」事なので、事務職員・教員・技術職員・学生の活動を、新潟、日本、世界に少しでも知ってもらえると、この仕事を続けていて良かったと思えます。

ワークライフバランスについて教えてください!

生活面では10年近い不妊治療を経てDINKSを選択しました。産めない女性でも、産まない選択をした人でも、固定観念に捕らわれず、自分らしく生きられる世の中が理想です。仕事の面では夫婦ともに、バリバリ働いて税金を納めて、間接的な子育て支援を出来る限り続けていきたいと考えています。

社会に出る前の皆さんへメッセージをお願いします!

社会に出るまでは、何度も失敗し、挫折を味わい、恥をかいて、人間力を鍛える時間だと思っています(社会に出てからの数年も鍛える時間)。社会に出ることは「未知との遭遇」なので、学生時代に思い描いた通りには進まないかもしれません。一番の夢が叶わなかったとしても、その次の夢が自分にとって天職かもしれません。何度失敗しても、チャンスは巡ってくると信じているので、常にアンテナを張って「自分が思い描く未来像」に近づけるようにしてみてください。時々、逃げる時間や充電期間を作ることも忘れずに。

コツコツすることが勝つコツです!